

川田テクノロジー株式会社(3443)

2017年3月期

第2四半期決算説明会

2016年11月30日



第2四半期決算

(2016年4月 ~ 2016年9月まで)





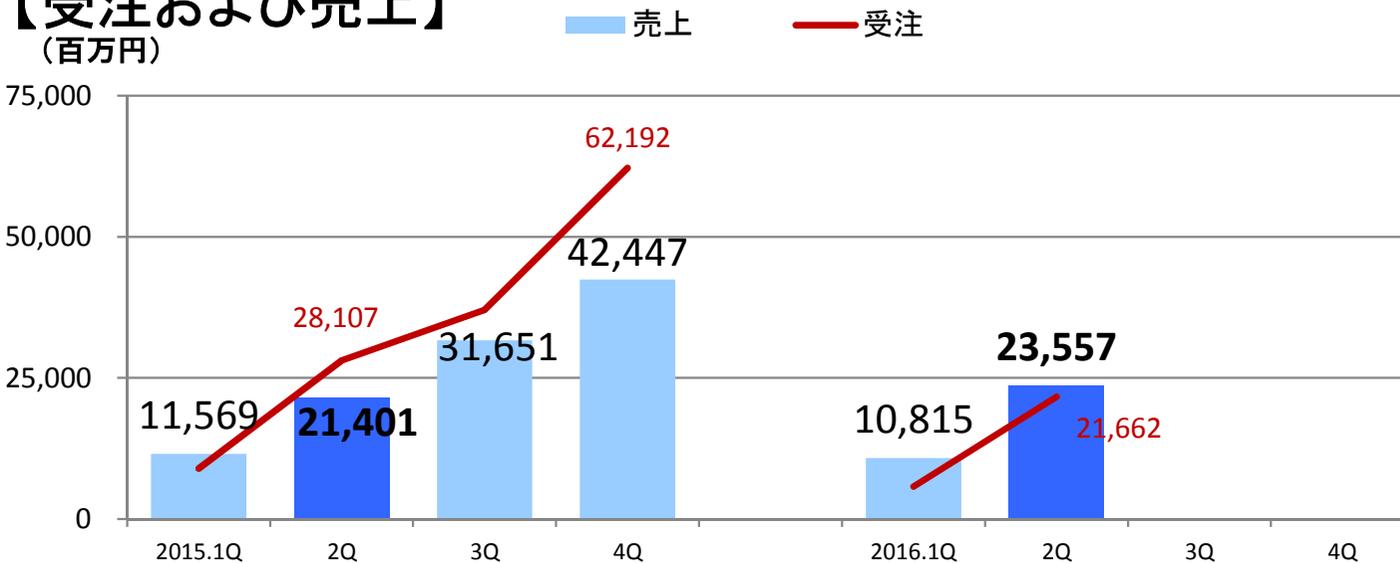
第2四半期の業績(前年同四半期比)

(百万円)	前第2四半期 実績 (a)	当第2四半期 実績 (b)	増減額 (b) - (a)	
			金額	前年比
受注高	63,439	55,212	▲8,227	13.0%減
売上高	45,175	50,915	+5,739	12.7%増
売上原価	41,493	43,972	+2,479	6.0%増
売上総利益	3,682	6,942	+3,260	88.5%増
販管費	3,379	3,506	+127	3.8%増
営業利益	302	3,435	+3,133	1035.6%増
経常利益	724	4,662	+3,938	543.9%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	748	4,002	+3,254	435.0%増

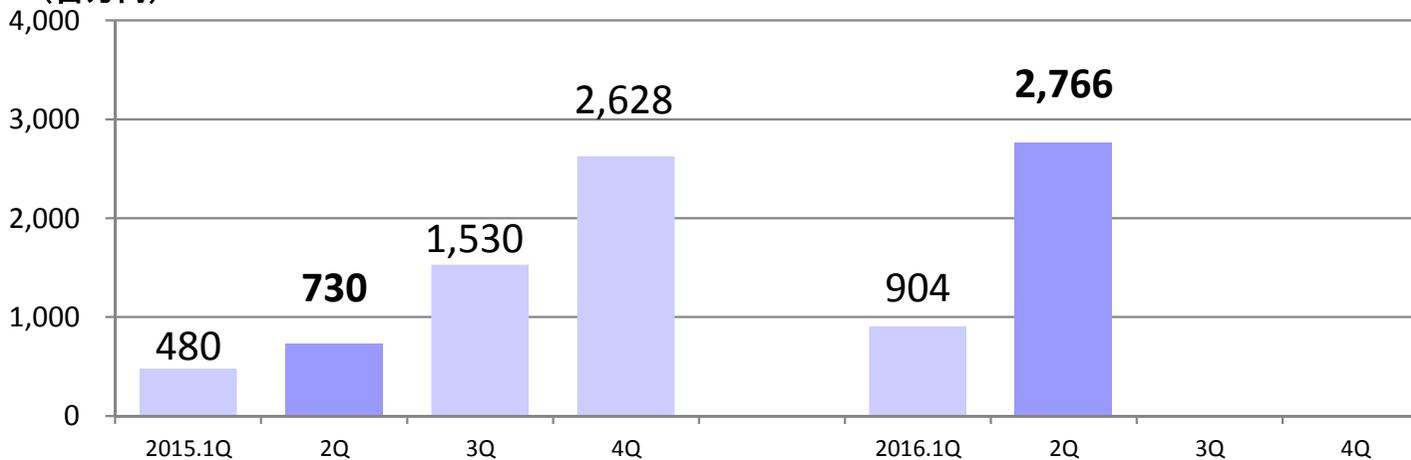


売上高と営業利益（鉄構セグメント）

【受注および売上】 (百万円)



【営業利益】 (百万円)



第2四半期実績

受注残高 73,386百万円

- ▼ 受注高は前年を下回る。
- ◆ 売上高は豊富な受注残高を背景に順調に推移。
- ◆ 原価低減、設計変更の獲得により採算性が改善し、営業利益は増益。



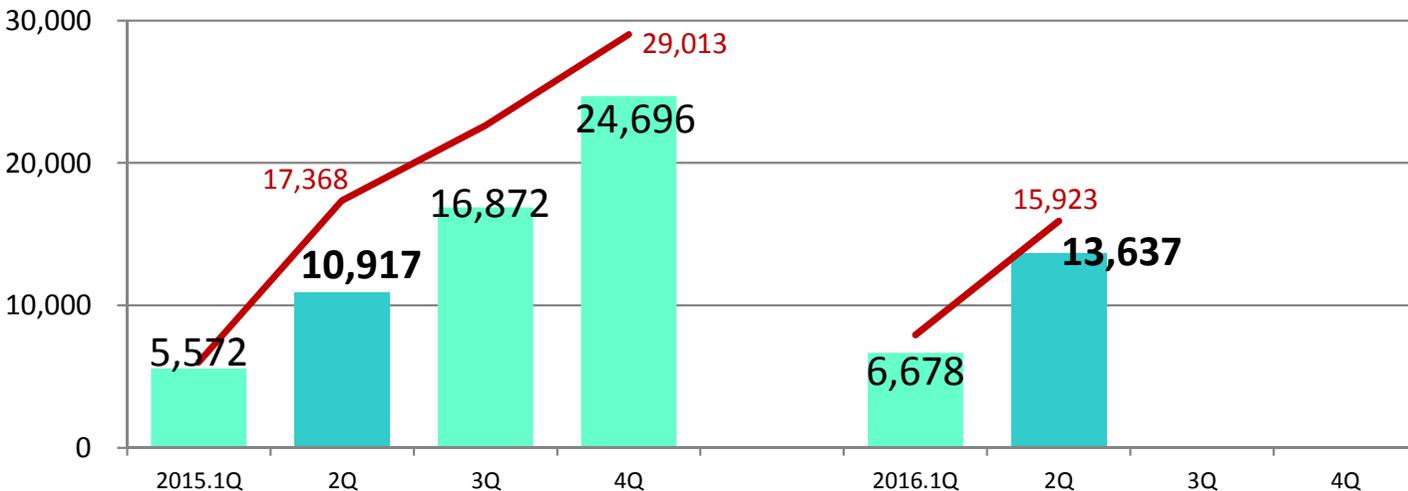


売上高と営業利益（土木セグメント）

【受注および売上】

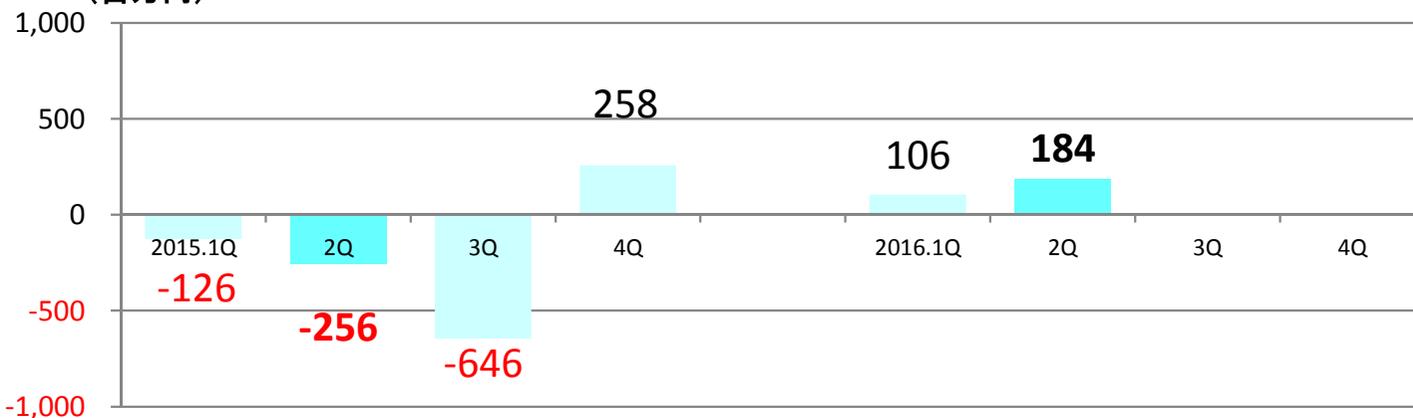
(百万円)

売上 受注



【営業利益】

(百万円)



第2四半期実績

受注残高 35,087百万円

- ▼ 受注高は前年に届かず。
- ◆ 売上高は豊富な受注残高を背景に増加。
- ◆ 売上高増加に伴い利益を積み上げ採算を確保。

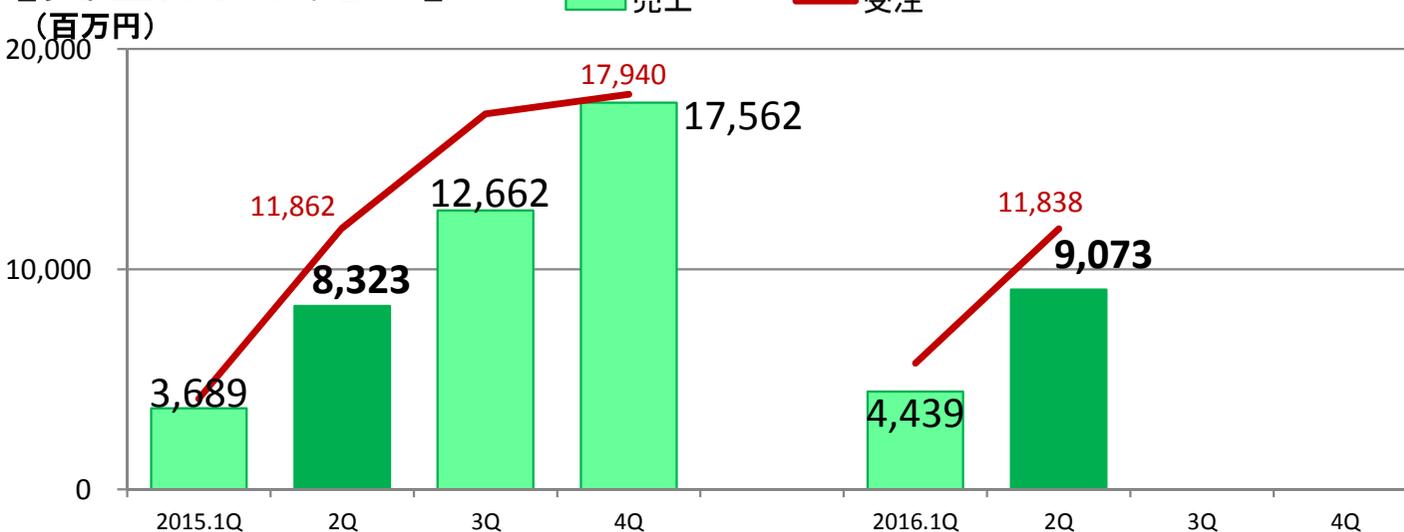
国道45号吉浜道路上部工工事・吉浜高架橋(岩手県)



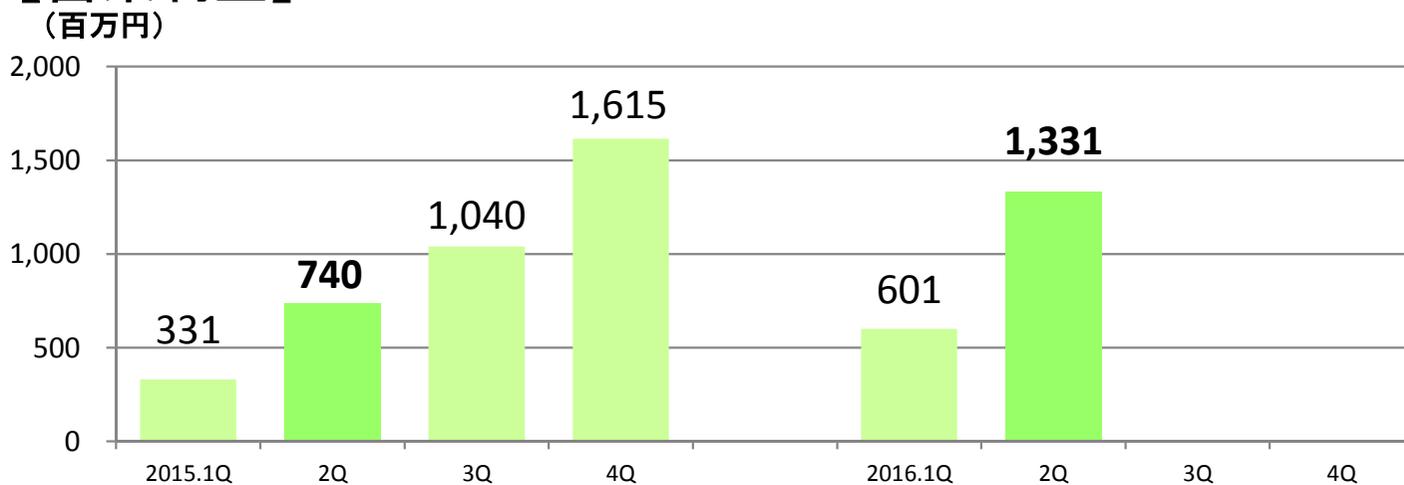


売上高と営業利益（建築セグメント）

【受注および売上】



【営業利益】



第2四半期実績

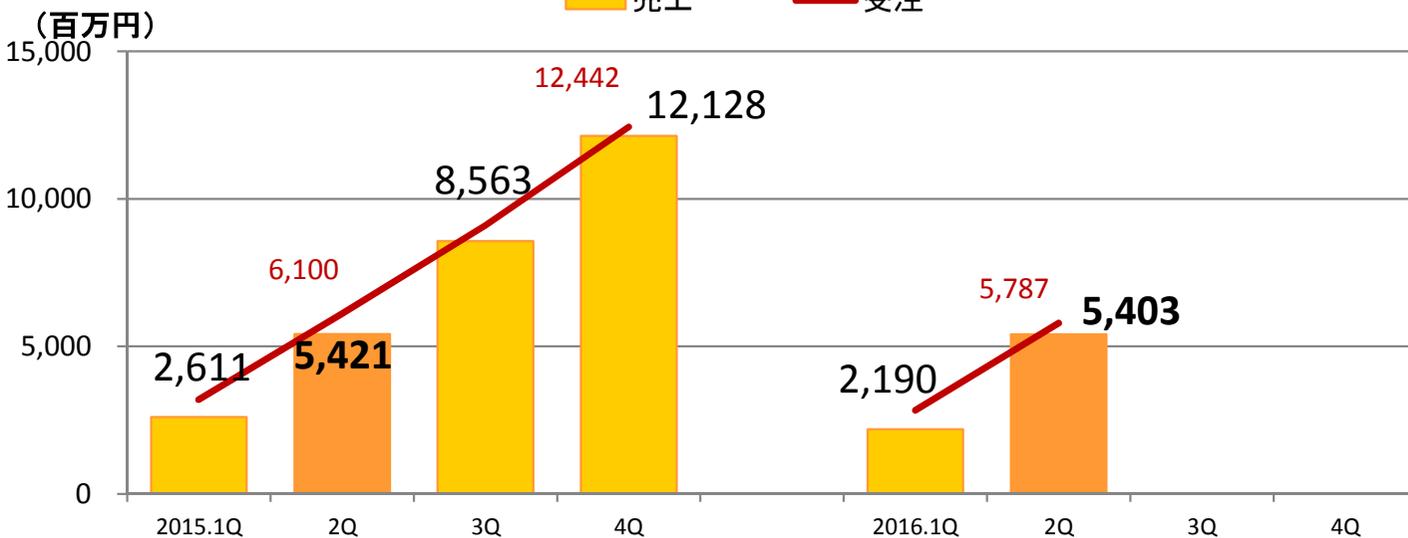
受注残高 14,623百万円

- ▼ 受注高は底堅い民間需要に支えられ高い水準を確保
- ◆ 売上高は豊富な受注残高を背景に増加。
- ◆ 採算性の高い工事が進捗したことで増益。

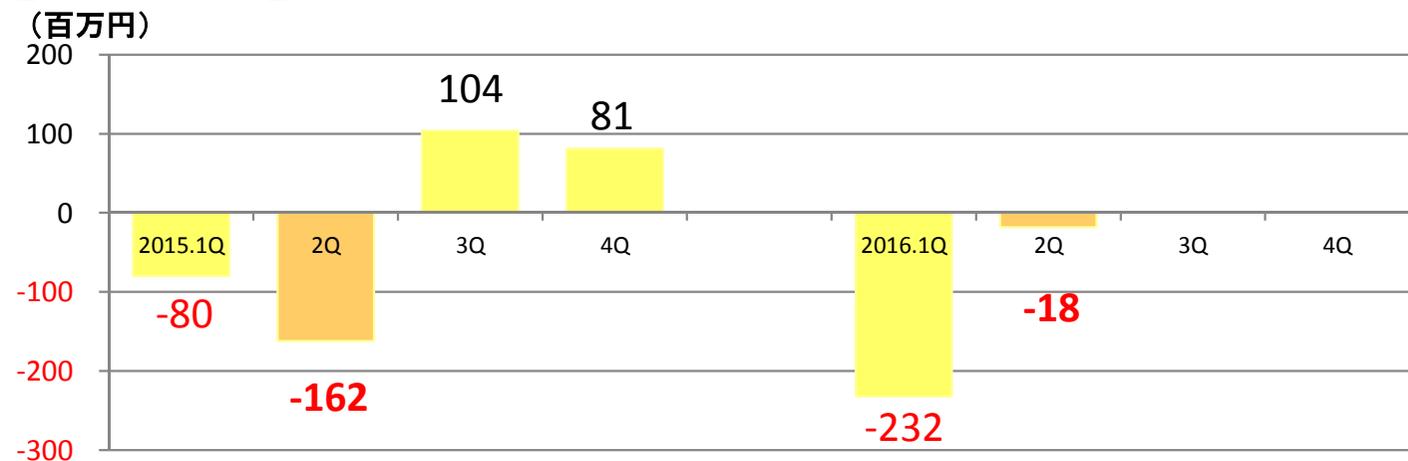


売上高と営業利益（その他）

【受注および売上】



【営業利益】



第2四半期実績

受注残高 1,892百万円

- ▼ 受注高は前年度より減少
- ▼ 売上高は微減に留まる。
- ▼ 営業利益は、航空機使用事業の費用が減少し、改善傾向だが損失計上。





通期見通し

(2016年4月 ~ 2017年3月まで)





2017年3月期の見込

	16/3 実績 (a)	17/3 見込 (b)	増減額 (b) - (a)	
			金額	前年比
受注高 (百万円)	121,589	108,000	▲13,589	11.2%減
売上高	95,153	105,000	+9,847	10.3%増
売上原価	85,394	93,200	+7,806	9.1%増
売上総利益	9,758	11,800	+2,042	20.9%増
販管費	6,705	7,300	+595	8.9%増
営業利益	3,052	4,500	+1,448	47.4%増
経常利益	2,632	5,500	+2,868	109.0%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,674	4,500	+2,826	168.8%増



業績見直しのポイント

2017年3月期数値目標(当初)

連結売上高 1,050億円	営業利益 28億円	営業利益率 2.7%	経常利益 25億円	当期純利益 20億円
------------------	--------------	---------------	--------------	---------------

2017年3月期数値目標(修正後)

連結売上高 1,050億円	営業利益 45億円	営業利益率 4.3%	経常利益 55億円	当期純利益 45億円
------------------	--------------	---------------	--------------	---------------

2017年3月期の見込を上方修正

- ①鉄構セグメントにおける採算性の向上
- ②持分法投資利益の計上
- ③各セグメントにおける進捗が堅調に推移する見込



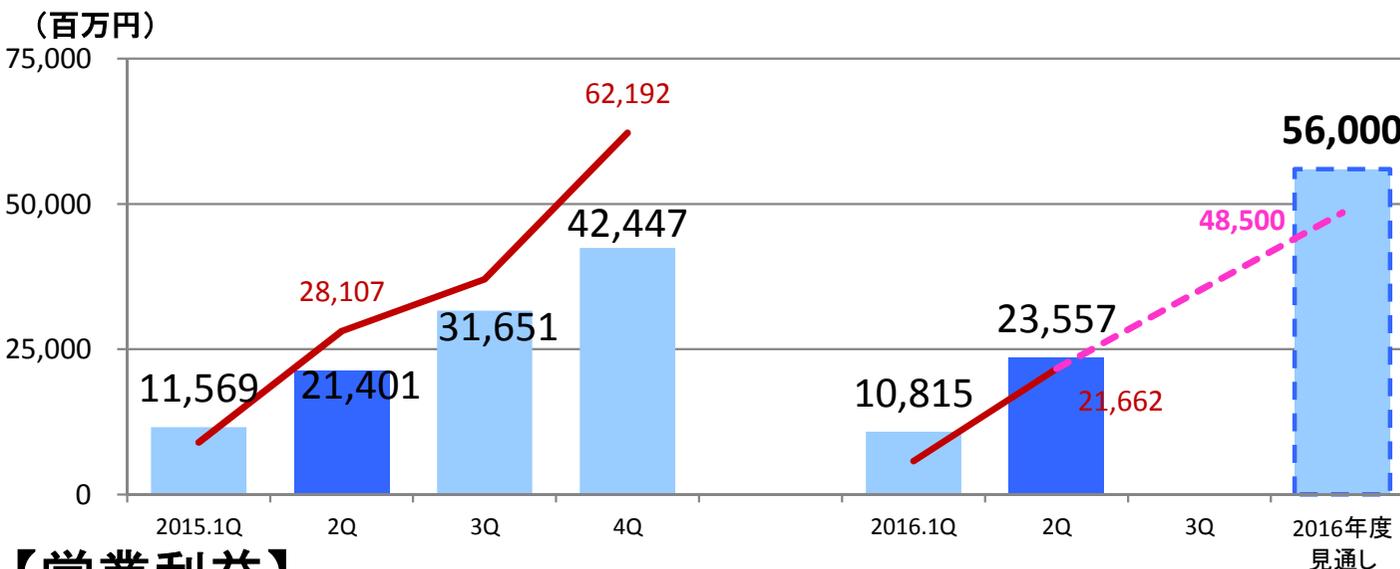
売上高と営業利益（セグメント別一覧）

セグメント		15/3期 実績	16/3期 実績	17/3期		
				見込	増減額	前年比
売上高	鉄 構	49,576	42,447	56,000	+13,553	31.9%増
	土 木	27,114	24,696	29,000	+4,304	17.4%増
	建 築	16,992	17,562	17,000	▲562	3.2%減
	その他	11,919	12,128	13,000	+872	7.2%増
営業利益	鉄 構	495	2,628	3,800	+1,172	44.6%増
	土 木	971	258	800	+542	210.1%増
	建 築	1,670	1,615	1,600	▲15	0.9%減
	その他	838	81	20	▲61	75.3%減

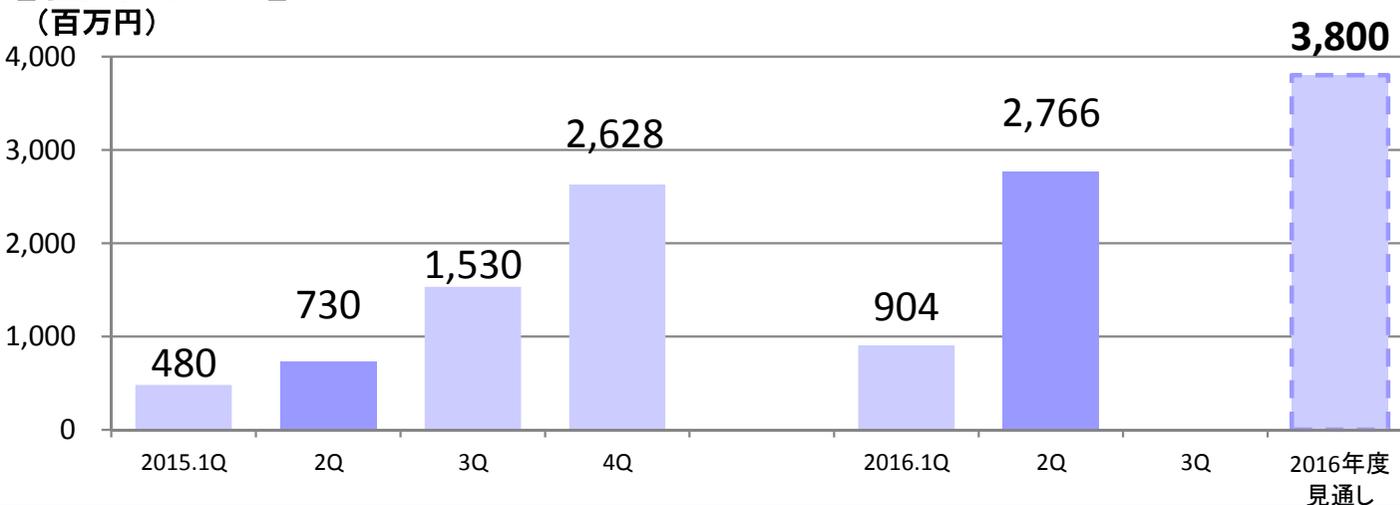


鉄構セグメント（見込）

【受注および売上】



【営業利益】



2016年度見通し

受注高 48,500百万円
(前年度比 22% 減)

売上高 56,000百万円
営業利益 3,800百万円

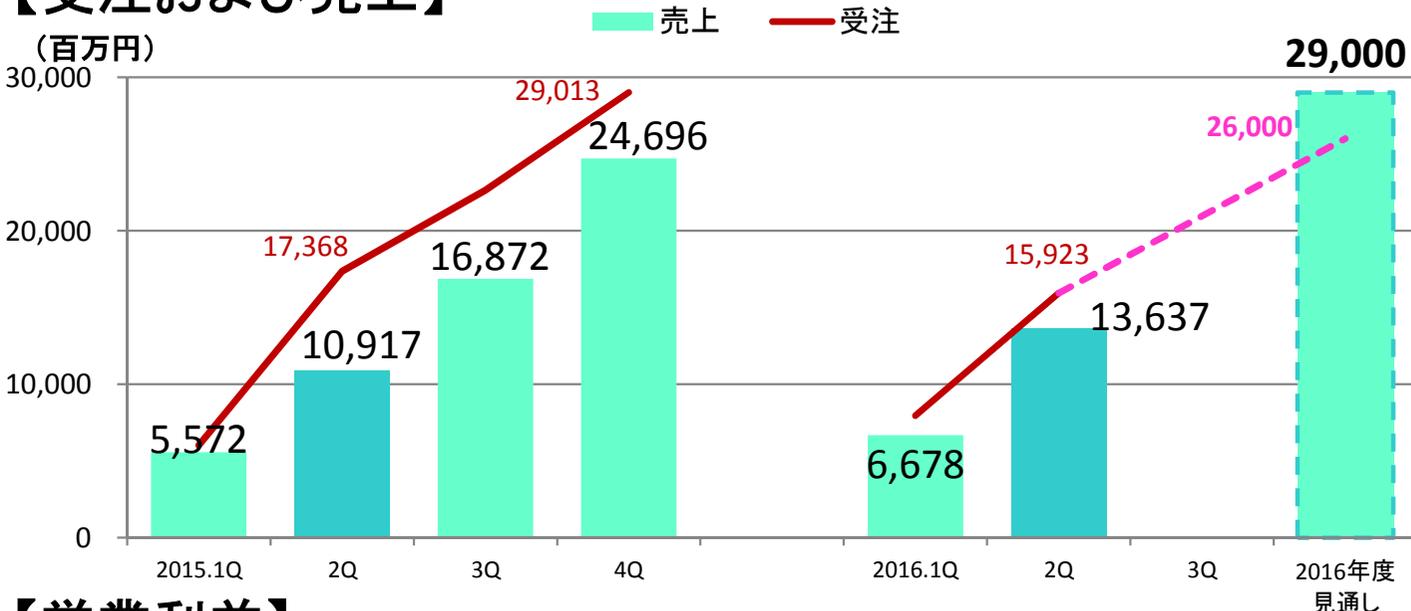
●大型案件の工事が順調に推移することで、売上高および営業利益は、増収増益を見込む。

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

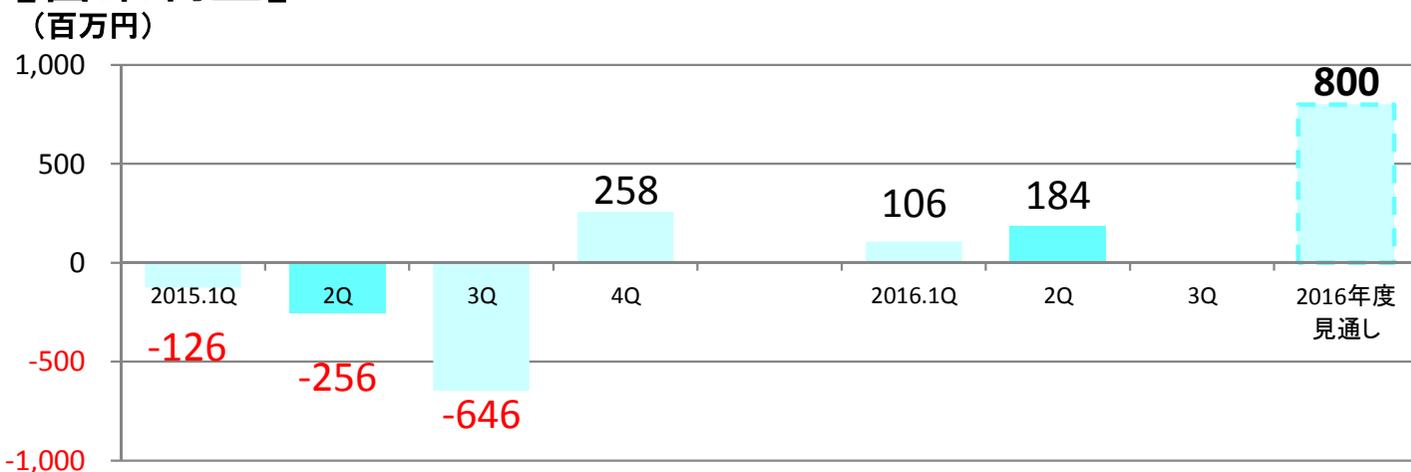


土木セグメント（見込）

【受注および売上】



【営業利益】



2016年度見通し

受注高 26,000百万円
(前年度比 10.4% 減)

売上高 29,000百万円
営業利益 800百万円

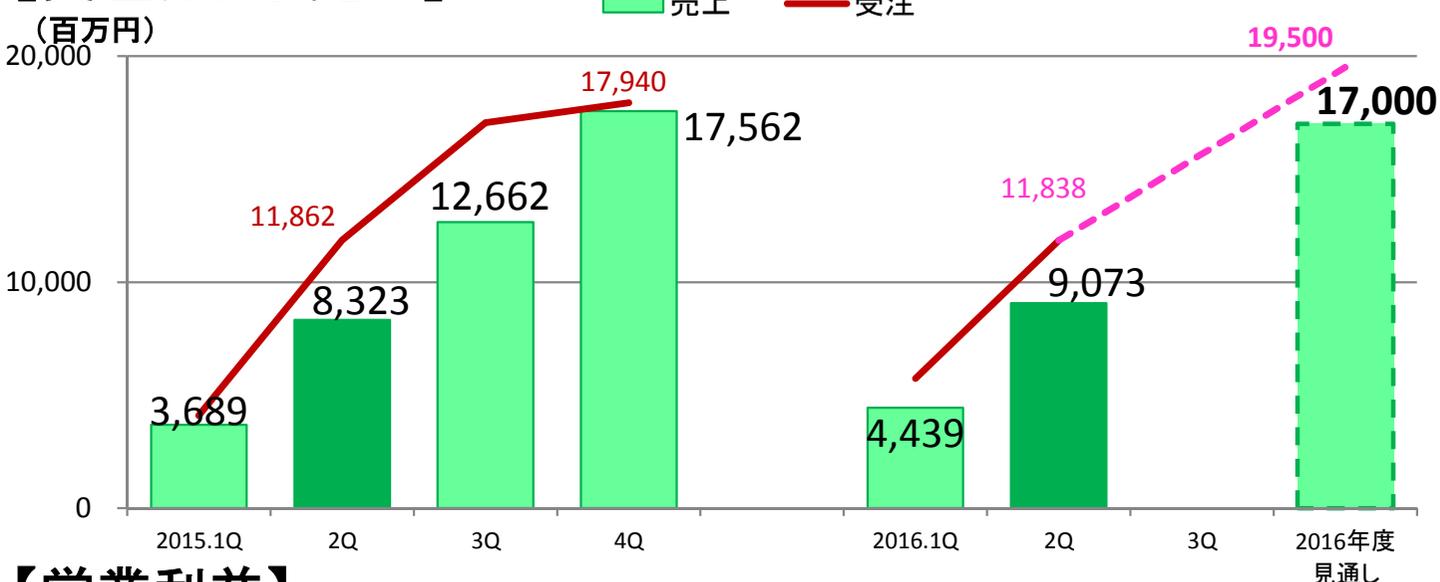
- 高速道路会社をはじめとする設計変更獲得に注力し、利益の更なる上積みを図る。

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

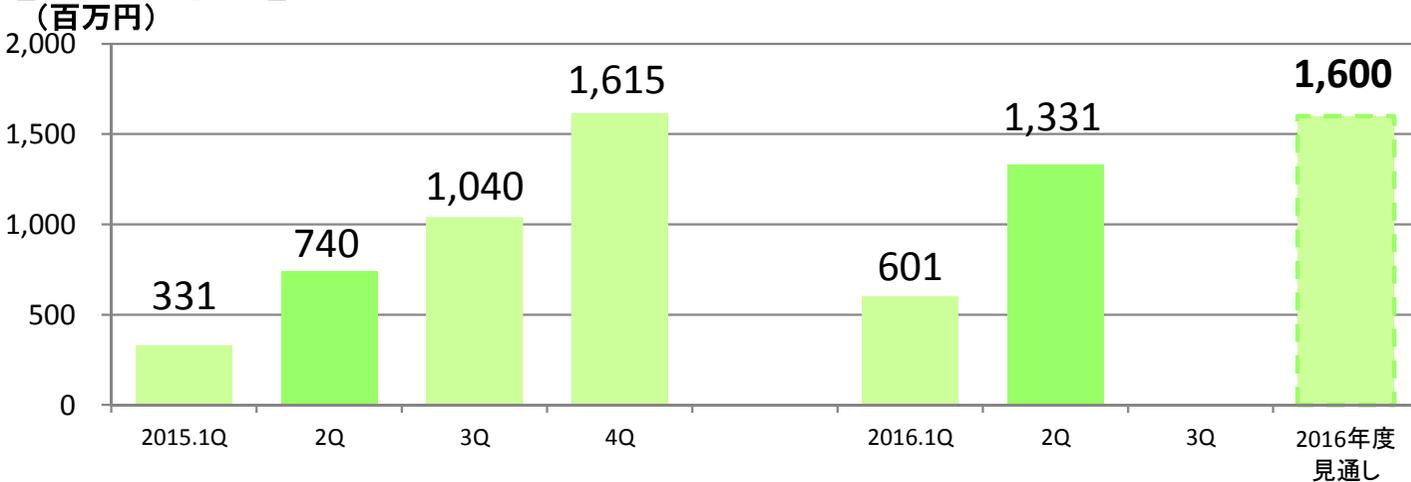


建築セグメント（見込）

【受注および売上】



【営業利益】



2016年度見通し

受注高 19,500百万円
 (前年度比 8.7% 増)

売上高 17,000百万円
 営業利益 1,600百万円

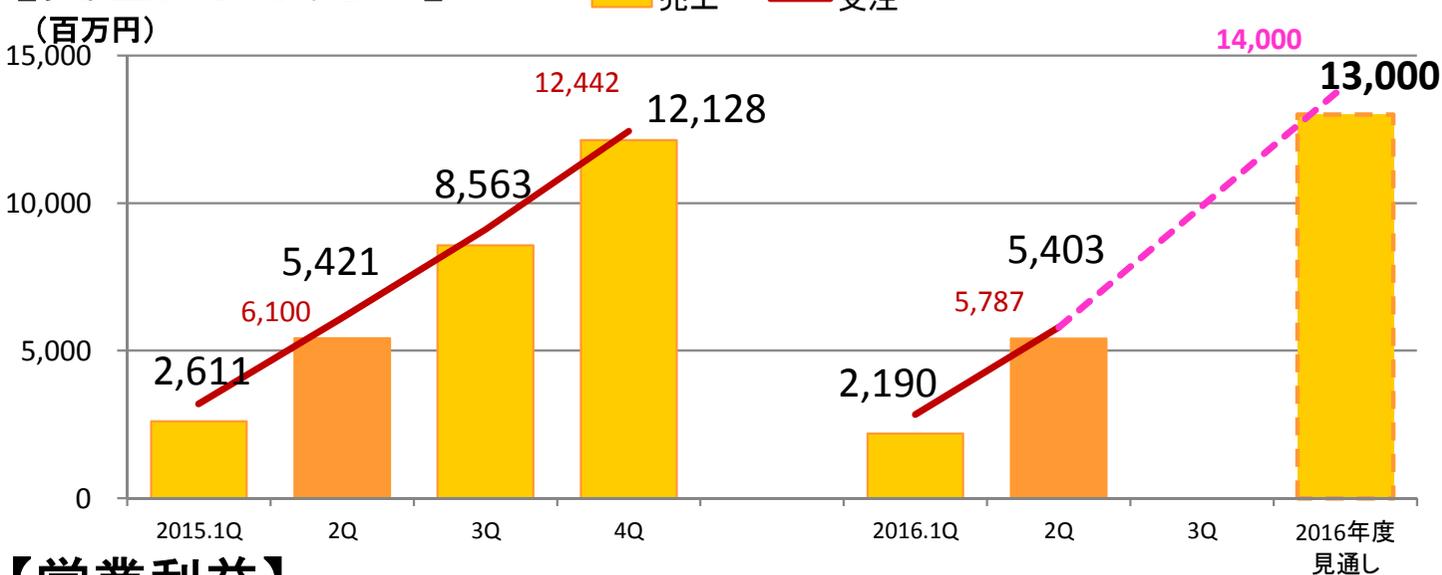
- 更なる原価低減を行い採算性の改善を目指す。一方で人手不足等の懸念材料あり。

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

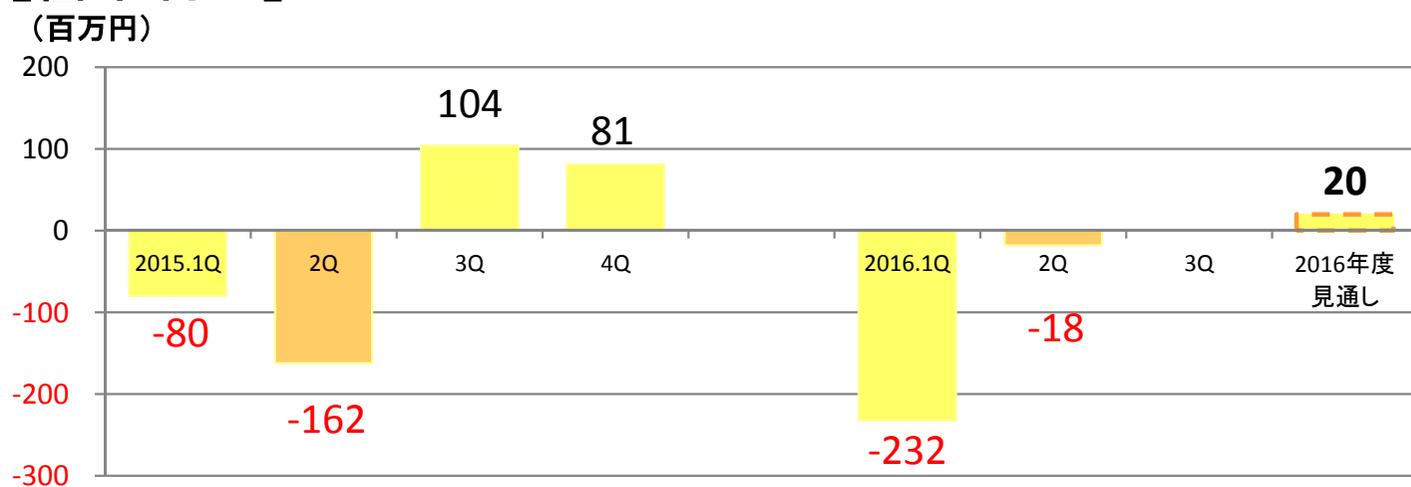


その他（見込）

【受注および売上】



【営業利益】



2016年度見通し

受注高 14,000百万円
(前年度比 12.5% 増)

売上高 13,000百万円
営業利益 20百万円

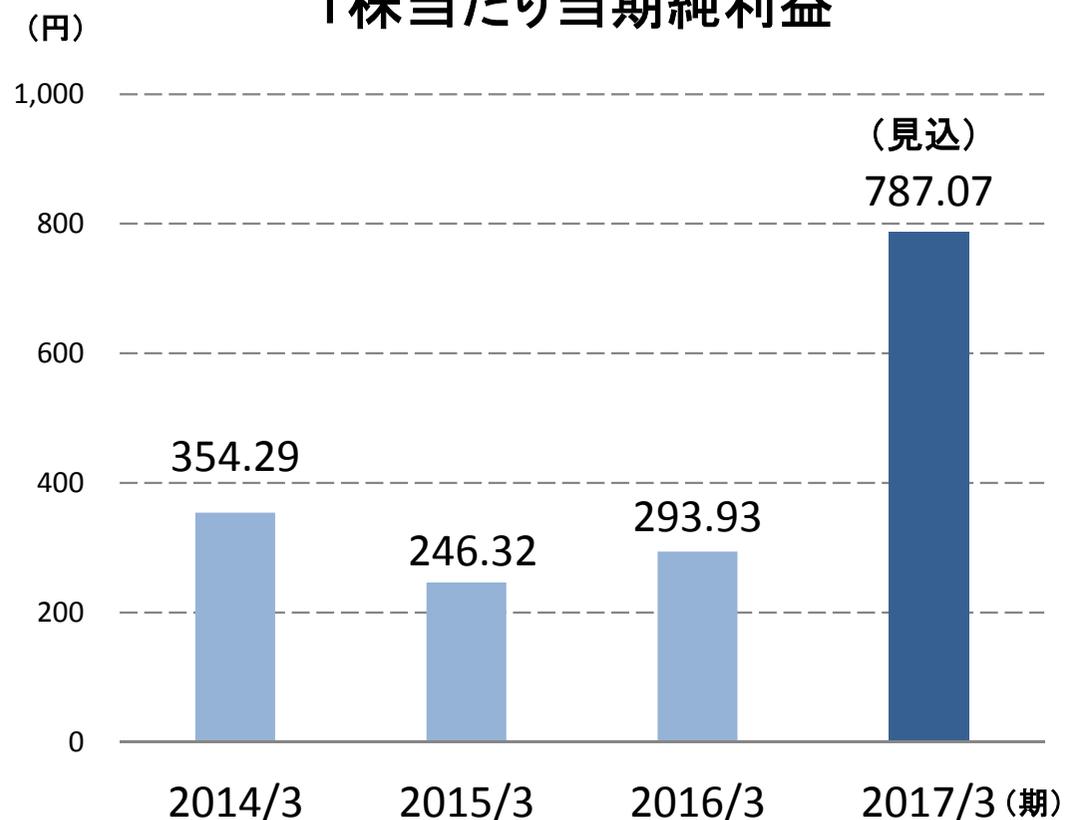
●ロボティクス事業の研究開発に注力し、費用が増加見込。営業利益は確保できる見通し。

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

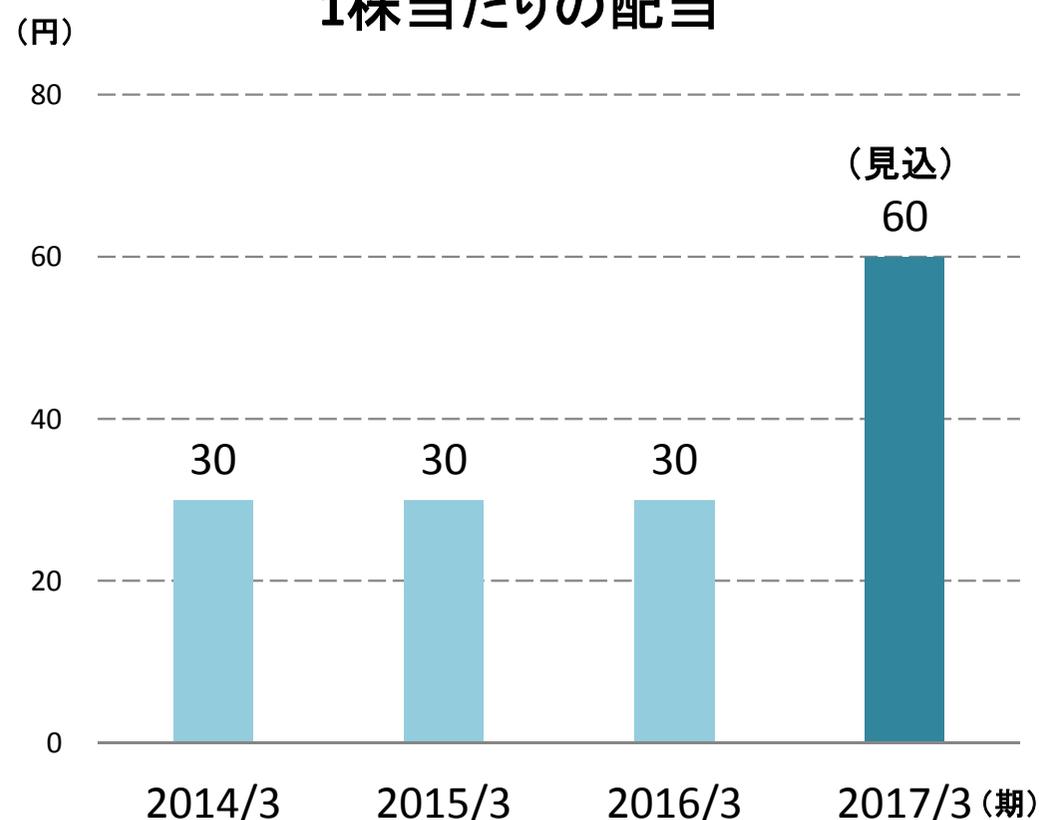


配当等について

1株当たり当期純利益



1株当たりの配当



※2017年3月期の業績予想の修正を踏まえ、
1株当たりの配当を60円と増配見込。



本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

総務部社長室 03-3915-7722(代表)